



第298号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

# 静臨技ニュース

発行所 / (一社) 静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセユー稲川207  
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者 / 三宅 和秀 編集責任者 / 鈴木 雅人 発行日 / 平成27年1月1日 印刷所 / 小林クリエイト(株)

## 1月号の内容



- ◆ 年頭挨拶 …… 1～4
- ◆ 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会を終えて …… 5
- ◆ 「減塩・低カロリープロジェクト2014」終了報告 …… 6
- ◆ 研修会終了報告 …… 7～9
- ◆ 平成27年1月・2月・3月行事予定 …… 10
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 11～16
- ◆ 会員の異動 …… 17

## 年頭にあたって

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

会長 三宅 和秀

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになったこととお喜び申し上げます。

法改正により4月から「検体採取」「味覚検査・臭覚検査」が可能となりますが、厚生労働省の指定講習会の受講が必要となります。本年1月より全国の地方厚生局所在地9都市で講習会が順次開催され、1年間で受講人員は最大で約2万人が受講できる体制になります。しかし、静岡県では東京会場か名古屋会場に参加するしかなく、県内でも開催できるよう日臨技に要望しております。

平成26年4月より新体制としてスタートし、理事一丸となって技師会の運営に努めております。公益事業として「メディメッセージ2014」「伊豆市健康福祉まつり」「減塩・低カロリープロジェクト2014」等に参画いたしました。

また、我々会員にとってデータの精度保証は重要な課題と認識しており、各部門の学術研修会、精度管理事業として「精度管理報告会」や「精度保証施設認証」にも取り組んでおります。日臨技主導の「検査説明のできる検査技師の育成」にも取り組み、3年間で150名が参加していただけるように講習会を開催し、臨床の現場で活躍できる技師の育成に取り組んでいきます。

平成27年の大きな事業として、日臨技中部圏支部医学検査学会(第54回)が静岡市のグランシップにて平成27年9月26日(土)・27日(日)に中部支部の会員を中心に開催する運びとなります。昨年より粛々と準備をはじめておりますが、会員の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の声に耳を傾け役員一同頑張る所存ですので、今後とも技師会活動にご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

# 静臨技役員新年の挨拶



副会長（組織部長） 山口 浩司（聖隷三方原病院）

平成 27 年の静臨技の最重点課題は、9 月 26 日(土)～27 日(日)にグランシップで開催します『第 54 回中部圏支部医学検査学会』が成功することであり、その準備を進めています。

学会テーマは『**守 破 離**』～臨床検査技師の目指す道、基本と今と未来を考える～  
ーシミュレーションからイノベーションへー

会員の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

副会長（学術部長） 菌田 明広（静岡県立総合病院）

学術部を預かって半年が過ぎましたが、業務をこなすだけでここまで来てしまったというのが本当のところ。病理や微生物などの部門では、既に取り組みが始まっていますが、今年は学術部門（旧研究班）と精度管理委員会の連携を図り、データ不良施設に向けた講習会を積極的に行うような体制作りに着手したいと考えています。また、日臨技と静臨技の精度管理調査において、同時期に同様な項目を測定しており、実施時期の見直しが必要であると考えます。徐々にではありますが、やらなければならないことが少しずつ見え始めた感があり、実現に向かって頑張っていきたいと思っております。本年もご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。

副会長（渉外広報部長） 鈴木 雅人（富士市立中央病院）

昨年 6 月より渉外広報部を担当させていただき、会報誌「静臨技ニュース」の編集・発行を主な業務としてまいりました。今年も静臨技ニュースが会員の皆様にとって身近な情報源となるように更なる努力をしてみたいと思っておりますので、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。今年は大きなイベントとして 9 月に静岡で開催される中部圏支部学会があります。このイベントを成功させるべくわかりやすい広報活動をしていきたいと思っております。

常務理事 山田 哲司（聖隷三方原病院）

常務理事を預かってはや 1 年が過ぎようとしています。西部支部及び渉外担当理事として技師会活動に携わりあっという間の 1 年だったように思います。2 年目の今年には中部圏支部医学検査学会の成功が第一命題だと思っています。会長・実行委員長を中心に、開催に向けて技師会が一致団結して取り組むよう微力ながら頑張りたいと思っています。多くの会員の方々の御協力をよろしくお願いいたします。

常務理事 三原 利仁（焼津市立総合病院）

昨年度は、メディメッセージに始まり、メディメッセージに終わった感じがします。多くの皆様の御協力を得ることができ、無事にメディメッセージを終了させることができました。本当にありがとうございました。さて、本年は中部圏支部学会が 9 月 26 日（土）、27 日（日）に静岡市のグランシップで開催されます。皆様方にはより一層の御協力をお願いすることになるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

常務理事 稲村 義男（順天堂大学医学部附属静岡病院）

平成 26 年度 6 月より、東部地区支部長並びに組織部の一員として、早 7 ヶ月が過ぎてしまいました。最初は、組織部の担当として右も左も分からなくて大変戸惑いました。しかしながら、理事様また支部の役員様及び会員の皆様の御力を得まして何とかここまで務める事が出来ました。大変有難うございました。

10 月 25 日の伊豆市社会福祉大会では、静臨技の協力を得て、また東部理事、東部役員、東部会員の 6 名で、無事滞りなく終了することが出来ました。有難うございました。このイベントは、出来ましたら来年も続けていきたいと思っています。

今年は、常務理事として、静臨技と会員とのパイプ役をしっかりと務めさせて頂き、少しでも、会員の皆さんの御役に立てる様、頑張りたいと思っています。今年も宜しくお願い致します。



**理事 清水 憲雄（磐田市立総合病院）**

昨年4月より、精度管理事業を担当させていただいています。日臨技システム（JAMTIS）を利用した静岡県臨床検査精度管理調査も2年目となり、昨年の12/14（日）には成績検討会を無事終えることができました。多くの会員の皆様のご参加、ご協力に感謝申し上げます。

今年も、地域サーベイの特色を生かしたものになるよう、委員一同、一生懸命取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

また、会員施設におかれましては、静岡県サーベイ、日臨技サーベイの参加と同時に、「精度保障認証施設制度」の申請もご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

**理事 梶間 弘美（浜松市リハビリテーション病院）**

昨年、理事を拝命して早々の10月に人事異動で聖隷浜松病院から移り、事務職へと転向し、仲間に助けられながら、新たなチャレンジをしております。広い視野と高い視点を意識するとともに、臨床検査技師としての専門性も磨いていきます。みなさん、ともに頑張りましょう！

会員の皆さまが、ご家族とともにいい年を過ごせるようお祈り致します。

本年も宜しく願い致します。

**理事 市川 千津子（静岡済生会総合病院）**

今年も昨年に続き年末年始のお休みがなが〜い年明けでした。お休みされた方、ゆっくり出来ましたか。お仕事された方、お疲れ様でした。昨年の私の目標「整理整頓」は部屋の移動により図らずも出来ました。不要なものがそれなりに片付いたのに、必要なものをどこに納めたのか思い出せず詰めの甘さに苦労しました。なかなかうまくいきません。皆さんは目標を立てていますでしょうか。

今年もよろしくお願いいたします。

**理事 新村 喜明（静岡市立静岡病院）**

時はウサイン・ボルトを遙かに凌ぐ勢いで駆け抜け、‘あつ’という間に新年を迎えました。理事就任は昨年の重大ニュースですが、技師会役員は多分野に長けていなければならないのだと改めて実感しています。一方、学術部門員は専門性の追求が必要であり、兼務する立場としてはマルチなスペシャリストを目標に掲げると優等生なのでしょう。しかし、そんなスーパーマンを目指すことは可能でしょうか？大丈夫です“ダメよ〜ダメダメ！”は昨年までのこと。今年は中部圏学会の地元開催も控えています。「2兎追うものは3兎をも得る！」兎に角、直向きに貪欲に邁進するのみ!! 本年もよろしくお願いいたします。

**理事 川口 貴子（静岡赤十字病院）**

昨年より理事として技師会に携わり、参加していただけの時とは違った一年でした。初めてのことばかりで右も左も分からず、他の役員の方々に助けていただいて過ごしてしまった年でありました。今年は通年行事の総会や県学会や研修会の開催、精度管理事業、静臨技ニュース発行等に加え、中部圏学会の開催もあります。昨年より少しでも多くの会員の皆様に参加していただける技師会として微力ながら努めていきたいと思っております。

**理事 井川 千春（富士宮市立病院）**

新年を迎え、これから天気の良い冬寒の日が多くなってきます。この季節は空気が澄んでおり、富士山がとても美しく見えます。先日、ぼーっと眺めていると、空を悠々と飛んでいる大きな鳥が目に入ってきました。ふと、ある言葉が浮かびました。縁起の良い初夢「一富士、二鷹、三茄子」。これはなんだか良い事がありそう。「鷹だ！」と思ったわけですが、よく見るとトンビかも？・・・何事も前向きに考えましょう。理事の仕事においても私なりに前向きに活動していくつもりです。

本年も皆様のご協力よろしくお願いいたします。

**理事 杉澤 きよ美 (沼津市立病院)**

理事を拝命してからあっという間に半年が過ぎてしまいました。組織部に加えていただいたもののなかなか思うような活動もできず、諸先輩方にはご迷惑をおかけしてばかりな気も致しますが、今年は本県で中部圏支部学会が行われます！

新年を迎え、学会の成功と静臨技の発展に向け、気持ちも新たに頑張ります!!  
本年もどうぞよろしく願いいたします。

**理事 都築 農夫志 (静岡医療センター)**

昨年4月より学術担当として、理事を務めさせていただいております。右も左もわからないまま慣れない業務に追われ、気がついたら年が明けていました。不慣れな若輩者をご指導くださいました皆様、ありがとうございました。

今年から、「検査説明・相談ができる検査技師」「検体採取」と、新しい分野の各講習会が本稼働します。是非とも奮ってご参加いただき、より患者さんに貢献できるよう技術向上を図っていこうではありませんか。

2015年が、皆様にとって実り多き年となりますようお祈りいたします。

**事務局長 伊藤 喜章 (静岡厚生連 遠州病院)**

今年、9月に静岡のグランシップにおいて6年に一度の中部圏医学検査学会が開催されます。昨年より三宅学会長の下、山口副会長(学会実行委員長) 菌田副会長(学会事務局長)を先頭に、担当の中部支部を中心に準備をしています。無事に、盛大に成功させるためには皆様、会員のご協力も不可欠ですので、ご協力よろしく願います。

尚、メディメッセージは、浜松(アクト)で開催予定ですのでこちらもよろしくです。

**会計部長 豊田 次郎 (榛原医師会臨床検査センター)**

今年、秋に中部圏支部学会を控えており、例年よりも緊張感を持って新年を迎えております。単に中部の学会を開催するだけでなく、中部各県に静岡の特色をアピールしようと様々な計画を進めています。三宅会長を中心とした『静岡パワー』を感じていただけるよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

**監事 榛葉 智之 (公立森町病院)**

新年を迎えて改めて思う事、それは自分にとっての人生観です。人生観には様々なタイプがありますよね。自分は今、明確な目標から具体的な行動を実践するように心がけています。それは20代のころにはとても思いつかなかった事で、経験や体験することで考えに変化が出たのでしょうか。今振り返ってみると、日々無二の1分1秒を大事にしなければと思います。

今年も会員の皆さんと協同で技師会を盛り上げたいですね。

**監事 渡辺 時治 (JCHO 三島総合病院)**

県東部はさらなる医師不足が深刻です。地域医療が崩壊してしまわないかと不安を感じています。そんな中で「検査説明」に「検体採取」と検査技師に業務拡大の流れが来ています。いずれも検査技師の「コミュニケーション力」が問われていると感じています。

さあ、今年もお互い励ましあいながら頑張らしましょう。



# 第 31 回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会を終えて

静岡県精度管理調査委員会 統括 清水 憲雄（磐田市立総合病院）

昨年末開催された静岡県精度管理調査成績検討会におきましては、総勢 349 名の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。静岡県の精度管理調査も今回で 31 回を迎え、30 回調査より導入した Web 形式による報告・集計も軌道に乗り、日臨技精度保証認証施設精度申請の効率化を実現することができました。

データについては臨床化学・免疫部門および血液の血算部門において、ここ数年来、良好な収束をみており、輸血部門においても非常に良い結果を得ることができました。今後は各施設のデータが良好であることに加え、施設内の技師間の技術、知識レベルの標準化に務めていただければと思います。また、非常に難しい分野ではありますが、微生物部門や病理部門での標準化も望まれるところであり、精度管理調査を通して委員の皆さんと共に他県に先駆けた普及に努めていければ幸いです。

今後とも、静岡県精度管理調査へのご参加、ご協力のほどよろしくお願い致します。



# 「減塩・低カロリープロジェクト2014」 無事終了！！

事務局長 伊藤 喜章（遠州病院）

寒さが一段落した、平成26年12月14日（日）に浜松市医師会主催イベントとして、「減塩・低カロリープロジェクト2014」が昨年に引き続き浜松市医師会館にて開催されました。このイベントは一昨年、浜松市の主催にて『見る』より『体験』「やらまいか！健康はままつ21」体感フェアとしてアクトシティで開催されたイベントの進化系で名前・場所・主催を変えて今回二回目の開催となりました。我が静岡県臨床衛生検査技師会も、西部理事及び西部技師会会員の協力を得て、総勢20数名で協力参加をしてきました。（ボランティア参加のため技師会の経費削減目的で西部の会員に動員をお願いしました）今回は、精度管理報告会と日程が重なり、理事及び会員には苦渋の選択をして貰った経緯もありましたが、両開催共に無事に終了できたのは皆様のご協力のおかげと思っております。このイベントも昨年同様、パンフレットやチラシに静岡県臨床衛生検査技師会共催と記載され、西部開催の公益事業として非常に気合が入ったイベントになっています。

朝、9時に技師会も担当である2階会場に集合し、白衣に着替え、会場設営、進行打ち合わせ、機器説明と段取りを進め、最後に恒例のピンクのビブスに腕をとおり、参加者全員に気合が入りました。担当は2部門（尿の塩分測定、SMBG（血糖測定））で理事・会員が持ち場に分かれ入場者を待ちました。予定は10時半開始でしたが来場者が10時には沢山集まり、開始を早めてのスタートになりました、約1時間半で80人強を検査する開催なので少し心配をしていましたが、さすがに技師の集まりなのでしょう、大きな渋滞・クレームもなく来場者を最後のレクチャールームに誘導出来ていました。毎年恒例だった聖隷三方原病院の山田技師長の激励訪問は、今回は技師会常務理事として、激励ではなく、誘導・撮影などの実働で頑張ってもらいました。11時半ぐらいには遠州病院の医師のレクチャーが始まったので、技師会参加者は減塩・低カロリー弁当に舌鼓を打っていたところに「出世大名 家康くん」が登場したので、参加者全員で集合写真を撮りました。（添付写真参照）髻のウナギを擦ると出世するという噂を聞き、つい擦っているスタッフもいました。その後、会場を元の教室の状態に戻し、今回のイベントを終了しました。


今回ご理解・ご協力して頂いた会員・理事施設（聖隷三方原病院・浜松医療センター・公立森町病院・遠州病院）、並びに三和化学様、ジョンソン&ジョンソン様、協和医科様にはこの場をかりて感謝いたします、ご協力大変ありがとうございました。

次号以降に、今回参加して頂いて方々の感想を載せていきたいと思っています。



## 研修会終了報告

事業名	平成26年度 第3回 輸血・細胞治療部門研修会
開催日	平成26年10月25日(土)
会場	アクトシティ浜松 研修交流センター 401会議室
参加人数	42人
内容	<p>1 題目は、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社の吉田純平先生に血液型検査と緊急輸血時の検査について講演していただきました。ABO不適合輸血のリスクや事例などについても分かりやすく解説していただきました。</p> <p>2 題目は、静岡県赤十字血液センターの河合和史先生に輸血過誤について講演していただきました。輸血過誤の状況、事例、防止方法について、実際に発生した事例を基に解説していただきました。</p> <p>ABO不適合輸血は絶対起こしてはいけない輸血過誤です。そのことを、今回の講演で改めて認識することが出来ました。</p>



## 研修会終了報告

事業名	平成26年度 第2回臨床一般部門研修会
開催日	平成26年10月25日(土)
会場	三島商工会議所
参加人数	40人
内容	<p>『穿刺液検査の基礎』と銘打ち、血球計数装置における髄液・体腔液測定についてを、シスメックス株式会社 岡野 英里子先生に、穿刺液(胸水・腹水・心嚢水・髄液・関節液)検査の基礎と臨床的意義についてを、三井記念病院検査部 矢野 正生にご講演頂きました。</p> <p>穿刺液検査はたいへん施設間差の多い検査であるのが現状ですが、臨床の場に必要とされる検査結果が報告できるよう、基本的な知識とその検査における臨床的意義について、症例を交え教えて頂き、大変有意義な研修会でした。</p>





## 研修会終了報告

事業名	第5回中西部地区意見交換研修会
開催日	平成26年10月31日（金）
会場	市立島田市民病院 本館 2F 栄養指導室
参加人数	22人
内容	<p>&lt;事例報告&gt;&lt;自由討論&gt;&lt;意見交換会のありかたについて&gt;</p> <p>前回からの課題として「生化学免疫分析の再検」を念頭において、今回は日常のルーチンワークを見直す機会として、各検査室で抱える問題点・疑問点を洗い出し、他施設の業務内容を参考に出来たと思います。</p> <p>中西部地区は以前から永きに亘ってブランチャラボだった施設が少ない為、生化学免疫分析の業務にベテラン技師が居ない中で担当になる方が多々見受けられ、若手は勿論、経験年数の浅い方が近隣施設と気さくに交流し合える場として、ノウハウを取り入れる切っ掛けとなれたと思います。</p> <p>各施設を幅広く外側から多くの見識を持つ賛助会員の方々の御意見も賜りました。</p>
	 

## 平成27年1月・2月・3月の行事予定

### 平成27年

#### 1月

- 10日(土) 平成26年度 第3回 臨床生理部門研修会 : 聖隷浜松病院  
10日(土)・11日(日)  
平成26年度 日臨技中部圏支部 一般検査研修会 : 浜松医科大学  
13日(火) 静臨技 第8回理事会 : 技師会事務所  
17日(土)・18日(日)  
平成26年度 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会  
: 静岡県立総合病院  
20日(火) 静岡県医師会 精度管理委員会 : 静岡県医師会  
24日(土)・25日(日)  
平成26年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会  
: あざれあ  
30日(金) 平成26年度 第1回 西部支部会 : プレスタワー21世紀倶楽部

#### 2月

- 8日(日) 第15回 静岡血液フォーラム : 静岡市立静岡病院  
13日(金) 静岡県標準化事業 第13回 東部地区意見交換会 : 三島市民文化会館  
15日(日) 平成26年度第5回静岡県輸血検査研修会 : 静岡県赤十字血液センター  
21日(土) 平成26年度 日臨技中部圏支部幹事会議 : 名駅ABCビル  
22日(日) 静臨技 平成26年度 スタートアップ研修会 : あざれあ  
28日(土) 平成26年度 第2回 染色体・遺伝子部門研修会 : 静岡赤十字病院

#### 3月

- 1日(日) 第54回 静岡県病院学会 : グランシップ

### ☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部(編集責任者)鈴木雅人まで [suzuki\\_masahito@sh.city.fuji.shizuoka.jp](mailto:suzuki_masahito@sh.city.fuji.shizuoka.jp)

会報12月号(抜粋カラー版)をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。

# 臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 26 年 12 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。  
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 27 年 (1) (敬称略)

<p>平成 27 年 1 月 10 日 (土) 1 月 11 日 (日)</p> <p>浜松医科大学</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 31 回 中部圏支部一般検査研修会</b></p> <p>テーマ： 『 高めよう知識、深めよう理解 ～世界遺産ふじの国から～ 』</p> <p><b>【参加費】</b> (2 日間) 9,500 円 (テキスト代含む) (1 日目のみ) 5,000 円 (テキスト代含む ・修了証書は発行しません)</p> <p>情報交換会 (任意) 5,000 円 宿泊費 (任意) 5,000 円</p> <p><b>【募集人員】</b> 100 名</p> <p><b>【募集期間】</b> 10 月 31 日にて終了</p> <p style="text-align: center;">*** プログラム ***</p> <p><b>【1 日目】</b> 1 月 10 日 (土)</p> <p>講演① 『 腎疾患の基礎と検査データ考え方 ～ 臨床医の立場から～ 』 講師： 腎臓内科医師 ( 浜松医科大学 )</p> <p>講演② 『 寄生虫症の現状と検査ポイント 』 講師： 石井 明先生 明先生 ( 浜松医科大学感染症講座 )</p> <p>講演③ 『 尿検査データから発信できる情報とは ～ 検査技師の立場から～ 』 講師： 油野 友二 先生 ( 金沢赤十字病院 )</p> <p>講演④ 『 尿沈渣の見方と中異型細胞鑑別ポイント 』 講師： 西 国広 先生 ( 株エスアール )</p> <p><b>【2 日目】</b> 1 月 11 日 (日)</p> <p>参加型 スライドカンファレンス めざせ尿沈渣マスター ! 講師： 野崎 司 先生 ( 東海大学医学部付属病院 )</p> <p>実習 (鏡検、標本作製)</p> <p>閉講式、修了証書授与</p>	<p><b>【研修会の問い合わせ先】</b></p> <p>臨床一般部門 部門長 藤原 彩乃 浜松医科大学 医学部附属病院 検査部 TEL 053-435-2787</p> <p>臨床一般部門アドレス shizuokaippan@yahoo.c o.jp</p> <p><b>【申込の問い合わせ先】</b></p> <p>事務局 竹川 由希子 JCHO 三島総合病院 臨床検査部 TEL 055-975-5545</p>
--	---	--

## 臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>平成 27 年 1 月 10 日 (日) 13 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>聖隷浜松病院 篁二会館 2F K21 会議室</p> <p>会員 1,000 円 非会員 2,000 円 (テキスト代込)</p>	<p style="text-align: center;"><b>平成 26 年度 第 3 回 臨床生理部門研修会</b></p> <p style="text-align: center;">超音波検査士認定試験に向けた基礎研修会</p> <p style="text-align: center;"><b>GE ヘルスケア・ジャパン株式会社</b> 地挽 隆夫 先生</p> <p>対象者：超音波検査士認定試験の受験予定者</p> <p>研修会の当日に開始時間厳守で直接、会場にお越しください。 参加予約は不要です。</p>	<p>No. (140028230) 臨床生理－専門－20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b> 臨床生理部門 石原 幹</p> <p>聖隷浜松病院 臨床検査部 <b>TEL 053-474-2222</b> ( 内線 2105 )</p>
<p>平成 27 年 1 月 17 日 (土) 1 月 18 日 (日) 9 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡県立総合病院 つつじホール</p> <p>受講料：10,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会</b></p> <p>研修目的： 患者向けの臨床検査説明・相談実施に必要な知識及び技術の習得により臨床検査技師のチーム医療参画の質的向上を図る。</p> <p>受講資格：静岡県臨床衛生検査技師会会員</p> <p>募集人員：50 名</p> <p>申込期限：2014 年 12 月 10 日 (日) にて終了</p> <p>(問合せ) 聖隷浜松病院 臨床検査部 弘島 大輔 E-mail : <a href="mailto:d-hiroshima@sis.seirei.or.jp">d-hiroshima@sis.seirei.or.jp</a></p>	<p>No. (140025495) 教育－基礎－30 点</p> <p>臨床検査総合部門 部門長 弘島 大輔 聖隷浜松病院 臨床検査部</p>

## 臨床検査関連研修会・講習会 (3)

<p>平成 27 年 1 月 24 日 (土) 1 月 25 日 (日)</p> <p>静岡県男女共同 参画センター 「あざれあ」</p>	<p><b>平成 26 年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会</b></p> <p>テーマ「疾患ガイドラインを理解しよう」 ～信頼される診療支援のために知っておくべきこと～</p> <p><b>【講演内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「採血管の取り扱いと検査値への影響 ～標準採血法ガイドラインのポイントを理解する～」</li> <li>2. 「血液ガスの基礎とデータの見方 ～ガイドラインの紹介も含めて～」</li> <li>3. 「生化学自動分析装置におけるトラブルと日常保守 ～実例を交えて～」</li> <li>4. 「日常検査でのデータ異常事例集 ～標準化事業活動より～」</li> <li>5. 「見逃されやすい補助栄養・水と電解質 症例で考える電解質異常の原因と検査法」</li> <li>6. 「自己免疫疾患の診療ガイドライン」</li> <li>7. 「疾患ガイドラインを読む、臨床検査が果たすべき役割」</li> </ol> <p><b>【受講案内】</b></p> <p>定 員 : 80 名 受講料 : 8,000 円 (テキスト代込み) 申込方法: 下記の内容を E メールでお送りください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 所属技師会名と会員番号</li> <li>② 施設名・部署</li> <li>③ 氏名 (ふりがなをお願いいたします。)</li> <li>④ 連絡先住所</li> <li>⑤ 電話番号</li> <li>⑥ 連絡先 E メールアドレス</li> <li>⑦ 懇親会参加の有無</li> </ol> <p>送り先 : kensa2@ken. ja-shizuoka. or. jp 申込締め切り: 平成 27 年 1 月 8 日 (木)</p> <p>・お申込をされた方には後日、受講料振込口座、懇親会の場所 (参加者のみ) を改めて E メールにてご案内いたします。 ・宿泊は各自で手配をお願いいたします。</p>	<p>平成 26 年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査 研修会 事務局</p> <p>高林 保行</p> <p>JA 静岡厚生連 遠州病院 臨床検査科 TEL 053-453-1111 kensa2@ken. ja-shizuoka. or. jp</p>
---	---	--

# 臨床検査関連研修会・講習会 (4)

<p>平成 27 年 2 月 8 日 (日)</p> <p>静岡市立静岡病院 12F 講堂</p> <p>会員 6,000 円 賛助会員 6,000 円 非会員 10,000 円</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 15 回 静岡血液フォーラム</b></p> <p style="text-align: center;">血液担当技師としてのスキルアップをしよう！</p> <p style="text-align: center;">10:00 ~ 17:00</p> <p>第 1 講演 『 「伝授します！血算の読み方」 血算はこう読む 』 聖路加国際病院 内科統括部長 岡田 定 先生</p> <p>第 2 講演 『 微量金属欠乏症と貧血 』 アボットジャパン (株) 栄養剤製品事業部 庄田のりこ 先生</p> <p>第 3 講演 『 これだけは押さえておきたい！ リンパ腫の基礎知識 』 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科病理学 佐藤 康晴 先生</p> <p>第 4 講演 『 血液形態検査に必要な基礎知識 』 NTT東日本 関東病院 臨床検査部 後藤 文彦 技師</p> <p>第 5 講演 『 抗血栓薬と凝固検査 』 アイエル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部 阪田敏幸 先生</p> <p>事前申し込み制 (血液研究班HPにて申し込み) 定員 先着 120 名</p> <p>※ 11/1 より 12/15 まで研究班HPに申し込み窓口を もうけます。</p>	<p>No. (140020793) 血液一専門—20 点</p> <p>臨床血液部門 部門長 大橋 勝春 JCHO 三島総合病院 臨床検査部 TEL 055-975-5545</p> <p><b>【申込み問い合わせ先】</b></p> <p>血液フォーラム事務局 佐藤 政季 磐田市立総合病院 臨床検査技術科 TEL 0538-38-5000</p>
---	--	--

## 臨床検査関連研修会・講習会 (5)

<p>平成 27 年 2 月 13 日 (金) 18 : 30 ~ 20 : 45</p> <p>三島市民文化会館 第一会議室</p> <p>会員           500 円 非会員       1,000 円</p>	<p><b>静岡県標準化事業 第 13 回 東部地区意見交換会</b></p> <p>テーマ： 若手技師・経験年数の浅い技師の方の研修と臨床検査に関する意見交換を通して検査室のレベルアップを図る。</p> <p>① 「メーカーの異なる分析機を 使いこなすために・・・」 順天堂大学医学部附属静岡病院 土屋 明実 技師</p> <p>当院ではルーチン帯、メーカーの異なる 3 つの分析機を用いて検査をおこなっています。新人がゆえに困っている事、また抱えている素朴な疑問などを聞いていただき、皆さんと一緒に考えてみたいと思います！</p> <p>②「検査データはこんな風に診断、治療に使われる」 静岡県立総合病院 腎臓内科 松尾 研 先生</p> <p>今回は、県立総合病院腎臓内科医師・松尾先生をお迎えし、ご講演いただけることになりました。講演後には我々検査技師からの疑問・質問にお答えいただけるということです。臨床の先生とざっくばらんにお話しのできるよい機会です。 ご多忙中とは存じますが、ぜひご出席くださるようお願いいたします。</p>	<p>No. (140031807) 臨床化学—専門—20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b> 富士宮市立病院 臨床検査科 赤池 陽子 0544-27-3151 (内 247)</p>
<p>平成 27 年 2 月 15 日 (日) 9 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡県 赤十字血液センター 静岡事業所</p> <p>会員           5,000 円 賛助会員   5,000 円 非会員       7,500 円</p>	<p><b>平成 26 年度 第 5 回 輸血・細胞治療部門研修会 輸血検査 実技研修会</b></p> <p>試験管法による血液型検査、交差適合試験、不規則抗体スクリーニングの基礎について実技研修を行います。</p> <p>□血液型検査：基本的な手技、異常反応の考え方 ※亜型検査は行いません</p> <p>□交差適合試験：基本的な手技、不適合になった場合の考え方</p> <p>□不規則抗体スクリーニング：基本的な手技、消去法の手技、不規則抗体陽性時の考え方 ※解離試験は行いません。</p> <p>また、輸血療法の実施に関する指針の解説も行います。</p> <p>募集人数： 20 人 (先着順) 参加希望者は下記メールアドレスへ「輸血検査実技研修会参加申込」という件名にて、氏名、施設名、連絡先を記入の上、メール送信して下さい。</p> <p><a href="mailto:t.kameyama@municipal-hospital.shimada.shizuoka.jp">t.kameyama@municipal-hospital.shimada.shizuoka.jp</a></p>	<p>No. (140031245) 輸血—専門—20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b> 輸血・細胞治療部門 亀山 拓哉 市立島田市民病院 TEL 0547-35-2111 (内線：2711)</p>

## 臨床検査関連研修会・講習会 (6)

<p>平成 27 年 2 月 22 日 (日) 9 : 00 ~ 19 : 30</p> <p>静岡県男女共同 参画センター あざれあ 4 F 第一研修室</p> <p>参加費 5,000 円</p>	<p><b>平成 26 年度 スタートアップ研修会</b></p> <p>対象： 新人～入職 5 年目位までの方 40～50 名</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレゼンテーション(提案)の考え方や基本的な技術を身につけよう！ ～伝えたいことがあるとき、 今までよりわかりやすく話たり、 説明ができるようになる～</li> <li>2. 日常業務の疑問点・問題点を共有し解決策を考えてみよう！ ～グループ学習を通じ、 日常業務の疑問点・問題点を抽出し ディスカッション・発表する～</li> <li>3. コミュニケーションを図ろう！ ～研修を通して、様々な施設との 技師間交流を図る～</li> </ol> <p>申込み方法：別紙申込用紙にご記入の上、 FAX にて静臨技事務所まで送付 申込み先：FAX 054-287-4113 申込み締め切り：平成 26 年 12 月 26 日 (金)</p>	<p>No. (140031807) 教育－基礎－20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b></p> <p>静臨技 組織部 静岡済生会総合病院 市川 千津子 054-285-6171 (内線) 2623</p>
<p>平成 27 年 2 月 28 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡赤十字病院 3 号館 研修室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p><b>平成 26 年度 第 2 回 染色体・遺伝子部門研修会</b></p> <p>テーマ： 遺伝子検査を基礎から学ぶ</p> <p>染色体・遺伝子検査部門の、第 2 回目の研修会です。 第 1 回に引き続き染色体・遺伝子検査の基礎と臨床応用について学びましょう。</p> <p>講演内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 『PCR の基礎的知識』(予定) アルフレッサ株式会社</li> <li>2 『血液細胞の形態異常と分子異常』(予定) 自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床検査部 園山 政行 先生</li> </ol>	<p>No. ( ) 遺伝子－専門－20 点</p> <p><b>【問い合わせ先】</b></p> <p>染色体・遺伝子部門</p> <p>静岡赤十字病院 大棟 久美恵 TEL: 054-254-4311 内線(2314)</p>

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい